

研究所年報 巻頭の言葉

富山大学で初の附置研究所（当時は和漢薬研究所）が設置されてから、早いもので35年になります。その節目の平成21年6月、和漢医薬学総合研究所は、文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点に認定されました。拠点名は、「和漢薬の科学基盤形成拠点」で、平成22年4月からの開始となります。本事業は、先端科学の研究手法による科学的エビデンスの集積と共有化を通して、和漢薬の基礎及び臨床科学基盤を形成し、経験と科学を融合させた新しい医薬学体系の構築と全人医療の確立に貢献することを目指しています。さらに、全国共同研究拠点の研究所としての施設整備のため、学長裁量経費ならびに関係する皆様方のご寄附により民族薬物資料館の増改築を行っており、平成22年2月末に完成予定です。本拠点を通して、全国の関連研究者および研究者コミュニティと緊密に連携して、一層の和漢薬研究の発展に寄与したいと思っております。

また、和漢研が共同研究拠点に認定されたことにより申請できる先端学術人材養成事業の公募で、私達の申請した「異分野の視点から見た和漢薬研究の独創的体系構築」が、平成21年10月に採択されました。これを受けて、シンポジウム・セミナーの開催ならびに国際共同研究の実施を通して最先端科学技術・知識の集積、和漢薬研究への効率的応用、及びイノベーティブな和漢薬研究成果を探求することを目的として事業を実施しました。本認定を契機に、更なる和漢薬研究の展開と情報発信拠点としての役割を果たす所存です。

今後共、皆様方からの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年1月

和漢医薬学総合研究所 所長 門田重利